

アフガニスタンの女性・少女の権利をまもれ

—国際社会の動き UN ウィメン、国際婦人年連絡会も連帯声明

アフガニスタンでは8月15日にタリバンが実権を掌握し、その直後から「女性の権利を守れ」という声があがっています。8月18日には米英、欧州連合の27カ国に中南米、アフリカ諸国が参加して共同声明を発表。婦団連が参加する国際婦人年連絡会もこの声明に賛同・連帯する声明を出しました。声明は、アフガニスタンの女性・少女の教育、労働、移動の自由に対する権利について深く憂慮し、権力を持つ人々に、女性たちの保護を保証するよう求めています。

続いてUN ウィメン（国連女性機関）は、女性・少女たちがこれまで獲得してきた権利が守られ、今後も活躍し続けられることが必要不可欠であるという声明を出しました。

コロナ危機からいのちを守るたたかい

国際民婦連加盟・ギリシャ女性連合大会

第13回大会が10月にアテネで開催され、700人が参加しました。全国・各分野からの発言で、コロナ禍での医療のひっばく、テレワークの強化や労働時間の延長による女性労働者の困難な状況が明らかになりました。

労組、青年運動、自営業、農業など、あらゆる分野の活動にもっと女性が参加すること、とくに子育て中の母親が社会活動に加わることの重要性が強調されました。

コロナ禍のもとで切実さを増している性の商品化や性暴力撤廃についても議論しました。



▼『女性白書 2021 発売中』

—コロナ禍とジェンダー平等への課題—

岡野八代、石川康弘、伊藤周平、堀内光子、姉齒暁、岡田知弘ほか

各分野の最新資料・統計も便利
3300円＋税 送料167円

▼2022年国際女性デー中央大会

2022年3月8日（火）18:00～19:30

講演「ケアするのは誰か？ジェンダー平等
社会の実現を」

同志社大学大学院教授 岡野八代さん
（オンライン開催・YouTube生配信）

国際カンパのお願い

婦団連は、ジェンダー平等、女性の人権、恒久平和を求めて活動する国際民主婦人連盟（WIDF）の執行委員として活動し、核兵器廃絶をはじめとする行動への連帯を広げています。

2022年にはWIDF第17回大会の開催が予定されています。

婦団連の国際活動は皆様のカンパで支えられています。日頃のご支援に感謝申し上げますとともに、今回もご協力をよろしくお願いたします。振込先・日本婦人団体連合会

郵便振替 00160—4—59402

